



平成 21 年度 北海道支部大会

平成 21 年度北海道支部大会が平成 21 年 6 月 19 日 (金), 苫小牧市民会館 (苫小牧市) で開催されました。午前の部は午前 9 時 30 分からの研究発表会が 2 会場で行われ, 11 件の研究報告等が発表されました。研究発表会の後, 同会館内の会議室で平成 21 年度の支部評議員会が行われたのに続いて, 午後 1 時から平成 21 年度の支部総会が行われました。総会は, 津村企画技術委員長の進行で平成 20 年度の事業経過および会計決算, 同監査報告, 平成 21 年度の事業および予算案などが審議され, 全ての議案が承認されました。さらに, 役員・理事・評議員の選考に当たり, 佐藤支部長の東京異動に伴う支部長の交代が提案され, 村井悦夫氏 (日本製鋼所・室蘭) が新任の支部長に選任されました。また, 平成 21 年度支部表彰として, 支部貢献賞に竹花奎一氏 (トヨタ自動車北海道㈱)、支部優秀学生賞に新田 勝氏 (室蘭工大) が選考され, 総会終了後両名にそれぞれ賞状と記念品が贈られました。

午後 2 時からの特別講演会では, 「ビューラーダイカスト技術の紹介」と題して梶川 浩氏 (㈱日本製鋼所) から, 「近年の技術開発とその動機」と題して石川 勝氏 (日本鑄鉄管㈱ 技監) からそれぞれ講演がありました。最後に, 同会館内 2 階の会場で交流会が行われ, 支部大会の全日程を終了しました。



竹花・新田両氏に支部表彰を授与



支部評議員会の様子



平成 21 年度支部総会の様子



懇親会での歓談の様子

平成 21 年度鑄造現場技術研修会 ～ 北海道青年鑄造技術者懇話会

平成 21 年度の鑄造現場技術研修会を平成 21 年 6 月 18 日 (木) に苫小牧市で開催しました。午後 1 時過ぎに JR 苫小牧駅に集合し, マイクロバスで㈱日邦バルブ・北海道工場に向いました。同社会議室で福井弘幸氏から会社概要の説明を受けた後, 同社工場の F C D 生産ライン, ロストワックス法によるステンレス鑄鋼品の生産ラインなどを順路に沿って見学しました。見学後の質疑応答では, 鑄型材の回収などの質疑が交わされました。

その後, 再びマイクロバスで研修会場の苫小牧市文化交流センター (アイビープラザ) に移動し, 午後 3 時過ぎから技術研修会を行いました。今回の研修会は, 講師に花王クエーカー (㈱豊橋研究室) の加藤雅之氏を迎え, 「最近の有機自硬性鑄型」と題して最近の有機自硬鑄型用樹脂とバインダの技術開発動向と, 併せてアルミナ系人口砂に関する研究への取り組みが紹介された後, 硬化時間と圧縮強度や気温・砂温の違いを補正する硬化剤供給コントロールなどについて質疑応答が交わされました。



㈱日邦バルブ北海道工場を見学



技術研修会で加藤氏から説明を聴講

専門別研究会（企画・技術委員会）

支部の専門別研究会は、前年に引き続き本年度も鑄造技術研究会、鑄造技術教育研究会、非鉄鑄物の高度化技術会の3つの研究会で活動を展開しています。

鑄造技術研究会

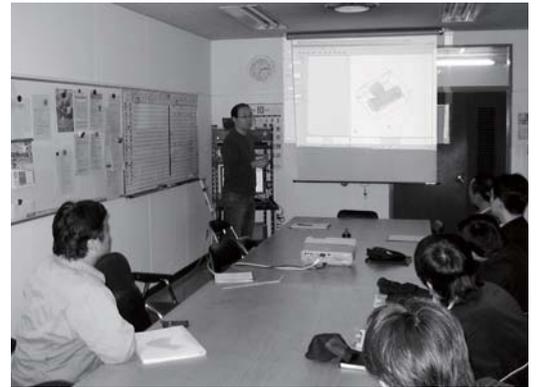
鑄造技術研究会（主査；戸羽篤也氏／道立工試）は、鑄造分野における3次元CADの活用から、作成した3次元データを積層成形や鑄造解析用のモデリングデータとして活用する視点で研究活動を進め、本年度はこれまでに3回（第11回～第13回）の研究会を開催しました。

これらの研究会では、平成20年7月に工業試験場に導入された鑄造解析システム「ADSTEFAN」の有効利用するため、湯流れ解析や伝熱・凝固解析に用いられる基礎理論の学習や参加企業で試験的に実施した解析事例の紹介などを中心に情報交換を行っています。

非鉄鑄物の高度化技術研究会

非鉄鑄物の高度化技術研究会（主査；山田一明氏／ホクダイ㈱）は、昨年度に引き続いて2年目を迎える本年度は、これまでに2回の研究会を開催しました。

第5回研究会は、平成21年7月27日（月）午後1時30分から京浜精密工業㈱北海道工場（岩見沢市）で開催されました。はじめに、京浜精密工業㈱の駒場一成氏（常務取締役）からの歓迎の挨拶の後、会社紹介VTRをはじめ会社概要の紹介があり、引き続き、2件の改善事例紹介がありました。初めに、京浜精密工業㈱北海道工場 チャレンジサークルの高野祐介氏から「非稼働時間&サイクルタイム短縮による出来高向上」と題して、同社鑄造グループが作業方法の変更や装置改良などで稼働率向上を目指す改善活動の成果が報告されました。次に、トヨタ自動車北海道㈱の齊藤健介氏から、「湯流れ・凝固シミュレーションを活用したアルミホイール品質改善事例」と



第13回鑄造技術研究会での事例発表の様子



第6回非鉄鑄物の高度化研究会の様子

鑄物材料	鑄造機械
営業品目	
<ul style="list-style-type: none"> ● 鑄物用珪砂 ● 合金鉄・黒鉛ルツボ ● 生型・有機・無機粘結材 ● 鑄造機械・鑄造プラント ● 塗型剤・耐火材料 ● 誘導炉 	
株式会社 砂金本店	
〒332-0034 埼玉県川口市並木1丁目13番10号 宮川口 048 (251) 5860 代 FAX 048 (251) 2888	
福島営業所 〒963-3603 福島県田村郡滝根町大字広瀬 宮 0247 (68) 1050 FAX 0247 (78) 2442	

SAND RECLAMATION EQUIPMENT 2パターンシャイナー <small>特許出願中</small>	
○バッチ式により均一な再生ができます	
太洋マシナリー株式会社	
<ul style="list-style-type: none"> ● 本社・工場 大阪市大正区鶴町 4-1-7 ● 西部営業所 大阪市淀川区三国本町 2-18-43 ● 東部営業所 東京都港区芝 5-1-9 (豊前屋ビル 3F) ● 中部営業所 名古屋市中川区伏屋 2-412 ● 広島営業所 広島市西区横川新町 8-25 (広島県鑄物会館ビル) 	Tel. (06) 6556-1601 (代) Tel. (06) 6394-1101 (代) Tel. (03) 5445-2771 (代) Tel. (052) 301-2611 (代) Tel. (082) 292-1966 (代)
http://www.omco-taiyo.co.jp	

営業品目	
鑄材	加炭材、フェロシリコン、フェロマンガ 砂(オリピン、珪砂、シリコン、クロマイト、各種コーテッド) フラン、ノーベック、その他レンジ 球化剤、スリーブ、各種耐火物
鑄機	高周波電気炉(富士電波工業) 有機自硬性設備(大洋鑄機) シェル(浪速製作所)、ショット(ニッチュー)
その他	サンドプラスト用Kサンド シェル中子(各種ご相談に応じます)
株式会社 菊目屋商店 札幌市西区発寒16条12丁目1番10号 電話 011-661-1531 F A X 011-664-0382	

営業品目： 原副資材、設備機械、管理機器 鑄物づくりのパートナー	
株式会社 中村鑄造企画 代表取締役 中村 明男 皆様のお役に立てることをめざします。	
事務所 〒006-0816 札幌市手稲区前田6条14丁目2-36 西ハイツ102号室	〒006-0031 札幌市手稲区稲穂1条6丁目21-10 電話 (011) 694-4589 FAX (011) 807-8022 E-mail akio@nakamura-fps.com

題して、同社の製品に発生する鑄造欠陥に対して、湯流れ・凝固解析の結果をもとに金型の改善や冷却方法を変更する等の対策の効果について北海道大学と共同で取り組んだ事例の紹介がありました。

第6回研究会は、平成21年12月8日（水）に小樽市の榊木下合金と榊光合金製作所・朝里工場の工場見学を行った後、「歩留まり率の改善」と題して榊光合金製作所の小川貴行氏から鑄物製造における製品重量歩留まり率向上目標の達成にいたる取り組みの事例が紹介されました。最後に、北海道立工業試験場の飯田憲一氏（製品技術部主任研究員）から「中小企業の生産管理」と題して講演があり、生産管理の目的と手法などの解説や具体的な取り組み事例が紹介されました。

鑄造技術高度化研修会 ～ 北海道支部が事業を後援

道央中核地域に自動車産業等への企業参入を促すための国家プロジェクトに関連する事業に対して当北海道支部が後援している「鑄造技術高度化研修会」の取組みとして、本年度も鑄造技術研究会等と連携した研修会と併せてこれまでに2回の講演会を開催しました。

1回目の講演会は、平成21年8月5日（水）午後1時30分からJSTノベーションプラザ北海道（札幌市）セミナー室で、講師に三輪 謙治氏（産業技術総合研究所・中部センター）を迎え、「マグネシウム合金材料の製造プロセスと実用化事例」と題して、マグネシウム合金に関する広い範囲にわたる技術紹介を中心に講演がありました。

2回目は、平成21年12月2日午後1時30分から道民活動センター（かでる2・7 札幌市）540会議室で、講師に小林 武氏（関西大学）を迎え、「これからの鑄物ビジョン」と題して、前半は鑄造技術全般を俯瞰して鑄物製造の今後を見据えた様々な技術的課題や技術展開の可能性について、後半は鉛を使わない青銅鑄物材料の開発に関わる研究の経過および成果が紹介されました。

この事業は年3回の講演会が予定されており、平成22年3月にも講演会を計画しています。



三輪氏を迎えのMg合金材料に関する講演会



小林氏を講師に迎えての講演会の様子

キュポラの能力を100%発揮する
エクシングの鑄物用コークス

営業品目

コークス・加炭材・オイルコークス販売
石炭・無煙炭・鑄物用副資材販売
備長炭・オガ炭・各種木炭販売
液化石油ガス販売事業・建築業・管工事業

Xing 株式会社エクシング

本社営業企画部 〒115-0041 東京都北区岩淵町39番23号
TEL.03-3901-3154・FAX.03-3901-3741
ホームページ: <http://www.x-ing.co.jp/>
E-mail: s.matsuda@x-ing.co.jp

明日の鑄物づくりに
お応えします

Challenge the New! Your Solution Partner

花王クエーカー株式会社

〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3 TEL.03(5630)7841
<http://next.kao.co.jp/quaker/>

東部営業所 中部営業所 西部営業所
TEL.048-658-8135 TEL.052-204-5621 TEL.06-6533-7471
FAX.048-649-3699 FAX.052-204-5367 FAX.06-6533-7942

日下レアメタル研究所



本社 東京都港区芝大門2丁目3番15号 一沫ビル本館
TEL (03) 3436-4681 FAX (03) 3436-2154

川口営業所 TEL (048) 253-2191 FAX (048) 255-6937
北九州事務所 TEL 090-3195-6170 FAX (093) 622-2286

鑄物の基礎を支える

オリビンサンド、オリビンコーテッドサンド
オリビン塗型材、その他セラミックス材料

東邦オリビン工業株式会社

本社 東京都中央区京橋2丁目12番4号(光和ビル) TEL.03-3538-3123
日高事業所 北海道様似郡様似町字槻満117-4 TEL.01463-8-2111

全国大会準備委員会 ～ 平成22年10月開催に向けて

平成22年10月初旬に札幌市で開催予定の第157回全国講演大会の準備委員会が発足し、平成21年10月9日に第1回準備委員会、平成21年12月8日に第2回準備委員会が開催されました。第1回会合では、準備委員長に桃野正氏（室蘭工大）を選出し、大会の開催日程を平成22年10月1日～4日とし、開催場所を北海道大学・工学部棟で大会を実施することが決定されました。さらにその大会準備に関する項目ごとに準備委員のなかから分担の割り当てを決め、それぞれの担当者間で話し合っただけで次回会議までに各準備計画の原案を持ち寄ることを申し合わせました。

第2回会合では、前回会議の申し合わせに基づいて、技術講習会、講演発表会、特別講演、レセプション、エクスカーション、YFEイベント、カタログ展示コーナー、記念誌の発行など、それぞれの担当者から大会の準備に向けた企画案が提示され、それをもとに協議が進められました。



全国大会準備委員会での審議の様子

会報編集委員会

第87回会報編集会議を平成21年4月10日（金）、第88回会報編集会議を平成21年11月19日（木）にいずれも午後3時から道立工業試験場の会議室で開催しました。

第87回の会議では主に平成21年6月に発行の支部会報第135号に関する記事の集約状況の確認と内容のチェックを行いました。一方、第88回会議ではニュースレター第7号と平成22年4月発行予定の支部会報第136号の掲載記事に関する検討を行いました。さらに、平成22年10月に開催予定の第157回全国大会に合わせて発行する予定の第137号について編集方針を協議し、前回の全国大会記念号の内容を踏襲して取材する方針を申し合わせました。



第88回支部会報編集会議の様子

(社)日本鑄造工学会

北海道支部からのお知らせ

○平成22年度北海道支部理事会

平成22年度支部理事会は、平成22年2月5日（金）に札幌市で開催いたします。関係者の皆様には別途ご案内いたします。

○平成22年度北海道支部大会について

平成22年度支部大会は、平成22年4月下旬に札幌市で開催する予定です。詳細は支部理事会での審議を経て、後日ご案内いたします。

(社)日本鑄造工学会
北海道支部ニュースレター

第7号

発行：平成22年1月25日

発行所：(社)日本鑄造工学会北海道支部

室蘭市茶津町4番地

(株)日本製鋼所室蘭製作所内

電話：0143-22-9226

WWW：<http://www.jfs-hokkaido.jp/>